

祝 阿蘇立野ダム完成



阿蘇立野ダムの除幕

このたび、白川沿岸の洪水被害を防ぐために昭和58年から事業着手された立野ダムが完成したことから、2月17日に立野ダム工事現場内で完成式典が実施されました。式典では、斉藤国土交通大臣や坂本哲志農林水産大臣、廣瀬水管理・国土保全局長をはじめとした関係者、蒲島県知事や吉良村長ら自治体関係者や地権者など約200人が参加。地元を代表して挨拶をされた

吉良村長からは、「阿蘇カルデラに降った雨は立野に集まり流れ下る。立野ダムはここで水量を調節するので、地の利を活かした理にかなったダムと言える。命のダム・緑のダムに加え、今後は観光のダムとして地域活性化につながるよう取り組んでいく」と述べられました。また式典では、除幕式もおこなわれ、ダムの名称が「阿蘇立野ダム」となることがお披露目されました。

阿蘇立野ダムの建設のあゆみ

昭和28年 6月	白川大水害
昭和55年 8月	白川洪水
昭和58年 4月	立野ダム建設事業着手
昭和62年 9月	立野ダム工事用道路着工
平成 2年 7月	白川洪水
平成 9年 3月	立野ダム工事用道路2工区(村道下牧～本村線)一般供用開始(阿蘇長陽大橋開通)
平成14年 4月	立野ダム工事用道路1工区(村道本村～法立線)一部一般供用開始
平成22年 9月	ダム事業の検証に係る検討について大臣の指示
平成24年 7月	九州北部豪雨災害
平成24年12月	ダム事業の検証に関する立野ダム建設事業継続の決定
平成28年 4月	熊本地震
平成30年 8月	立野ダム本体建設工事起工式
令和 元年 9月	あそ立野ダム広報室開所
令和 2年10月	立野ダム本体コンクリート打設開始
令和 3年 5月	立野ダム本体建設工事定礎式
令和 5年 5月	立野ダム本体打設完了
令和 6年 1月	試験湛水
令和 6年 2月	立野ダム完成式典
令和 6年 4月	阿蘇立野ダム運用開始

阿蘇立野ダムの名称の由来

立野ダムは阿蘇カルデラの入口である立野火口瀬に建設されており、工事中もインフラツアーなどにより多くの人たちに立野ダムを見に来ていただいていた。ダム完成後においても阿蘇地域の観光資源として立野ダムの名を日本全国、さらには世界のより多くの皆さんに知っていただけるようお願いがこめられています。



完成した阿蘇立野ダム